

# 2019年度和歌山市立明和中学校スクールプラン

校長 古谷友宏 作成日 平成31年4月19日

## 和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成 ○道徳教育の充実
- 健やかな体の育成 ○特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- こどもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

## 保護者・地域の願い

- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 心の教育を大切にしてほしい。
- 授業を大切に、子どもの学力をあげるようにしてほしい。

## 【学校教育目標】

人間尊重の精神を基本にして、  
知・徳・体の調和のある生徒の育成

### 【めざす生徒像】

- 自分と仲間を大切にし、共によりよく生きていく生徒
- 自ら学び、自己実現に努力する生徒
- より広い世界を視野に入れ、伝統と文化を含めた社会に貢献できる生徒

## 前年度の学校評価

- 学校に行くのは楽しいと考える生徒は多い。
- 行事・地域学習は充実している。
- さらに授業の充実を。

## 児童（生徒）の実態

- 学校生活に満足している生徒は多い。
- 授業に集中できない生徒がある。
- 家庭学習の定着に差がある。
- 多くの生徒が部活動に熱心。

### 重点目標

#### 確かな学力の向上

- ◎指導の工夫・改善と総合的な学力向上をめざす本校の「明和中学校授業づくり」のさらなる充実

#### 豊かな心の育成

- ◎学級づくりを通し、自分と仲間を大切にし、よりよく生きていく力の育成
- ◎道徳教育の充実

#### 健やかな体の育成

- ◎保健体育教育の工夫・改善による心と体の調和的育成
- 健康安全教育の充実
- 基本的生活習慣の確立

#### 地域とともにある学校

- ◎開放月間時の行事や授業公開による地域への取り組みの充実
- 地域での体験活動や行事等に対する参加の奨励

### 具体的な取組

- ◎各教科担任が「わかる授業」「参加する授業」「楽しい授業」等、主体的・対話的・深い学びをめざし、授業力を高める。
- ◎各個人の授業力改善に、より効果的な研究授業・提案授業のスタイルを工夫し、定期的を実施することで、教師の授業力向上による生徒への効果をめざす。

- ◎「自分と仲間を大切にし、よりよく生きていく学級」をテーマに、学級づくりの具体的指導方法等を含めた研修を実施し、担任の力量を高める。
- ◎道徳教育充実のための現職教育を持つとともに、実際の授業改善に向けての取り組みを進める。
- 学校行事での目標及び指導方法を明確にする。

- ◎体育学習・保健学習について、校内研修・勉強会を数多く実施し、心と体の調和的発達を図る。
- 養護教諭を中心に健康安全教育の充実を図る。
- 和歌山県立医科大学看護学部の実習を効果的に利用する。
- ブラッシング指導等具体的な健康の取り組みを実施する。

- ◎学年だより、保健だより等の各担当からの便り、ホームページ更新、メールの独自配信等を積極的に情報発信する。
- 学校開放月間の充実を図るとともに、より効果的な学校開放の在り方を検討する。
- 学校評価の取り組みを有効に活かすことで、保護者・地域・学校の信頼関係を深める。

### 指標

- ・学校評価アンケートでの「授業が楽しい」「学習内容がよく理解できている」を80%以上に。

- ・学校評価のアンケートでの関係項目（4項目）の平均を80%以上に。・道徳教材、自主教材を年間授業の2/3に。

- ・体育の実技授業についての意欲・態度観点A評価を半分以上に。

- ・学校評価アンケートにおいて「家庭・地域との協力」等の項目において70%以上の肯定的評価。

◎：特に重点的に取り組むこと